

ミッションステートメント

- 提案課題名 「産業牽引型イノベーション創出若手人材養成」
- 総括責任者名 「森 秀樹」
- 提案期間名 「国立大学法人 岐阜大学」

(1) イノベーション人材養成システムの概要

飛騨・美濃・尾張地域の産業の牽引に必要な、マネジメント力、コミュニケーション力、協調性、創造性を備え、国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につけた人材の養成を目的とする。「イノベーション若手人材養成センター」を設置し、情報を一元的に統括し、教育プログラムの策定・運用を行う。学内外から選抜した若手研究者に、イノベーションスキルプログラム（6ヶ月）の実施後に、国際教育研究または産学連携の実践プログラム（3-6ヶ月）を行う。イノベーションスキルプログラムとして、アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語を行う。国際教育研究プログラムでは海外の国際交流協定大学に派遣し、産学連携プログラムでは人材養成協力を締結した企業へ派遣する。これにより、地域産業を牽引でき国際的な視野を持った高度な産業研究人材を養成する。

(2) 3年目における具体的な目標

	養成対象者	養成期間 (ヶ月)	到達レベル	養成人数 (累積数)	産業界への 輩出人数 (累積数)
3年目	博士課程（後期） 在籍者	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につける	20 (58)	12 (34)
	ポストドクター等	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につける	4 (10)	2 (5)

(3) 実施期間終了時における具体的な目標

	養成対象者	養成期間 (ヶ月)	到達レベル	養成人数 (累積数)	産業界への 輩出人数 (累積数)
終了時	博士課程（後期） 在籍者	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につける	20 (98)	12 (58)
	ポストドクター等	9ヶ月～12ヶ月	国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につける	4 (18)	2 (9)

- ・終了時まで構築するイノベーション若手人材養成システムの内容
若手人材養成センターを設置し、情報を一元的に統括し、教育プログラムの策定・運用を行う。本センターには、センター統括本部、プログラム推進委員会、審査・評価委員会を設置し、学内の各機関からの委員と連携企業委員により実践プログラムの開発、審査・評価を行なう。
- ・終了時まで作成する実践プログラムの内容
学内外から公募した若手研究者にイノベーションスキルプログラム（アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語）を行った後、海外派遣（国際教育研究プログラム）または企業派遣（産学連携教育研究プログラム）の実践プログラムを実施する。

(4) 実施期間終了後の取組

実施期間終了後は、学内処置及び協働企業等からの支援により、本システムの継続と発展を図る。また、全学体制への取り組みとして次期中期計画での位置づけを明確にしてその拡大を図る。

(5) 期待される波及効果

若手研究人材が、国際的な広い視野や実社会のニーズを踏まえた発想を身につけることで、大学や参画する研究機関の活性化につながる。また、従来は大学に就職先を限定していた考えが世界や国内企業の開発機関へと広がり、それらへの人材供給の効果が生じる。特に、中部地域での産業を牽引する人材を供給することで、この地域の開発技術力が強化でき、国際競争力が高まる。